

認知症のお話



認知症には3つの時期があります

①混乱期（こんらんき）

眉間にしわを寄せ、困った表情。

→ 安心感を与えることが大切。

②依存期（いぞんき）

声を出したり、音を立てたりして、人が来るまで呼び続ける。

→ 一人にしないように努める。

③昼夢期（ちゅうむき）

穏やかな顔つき、笑顔も見られる。

→ 本人の好きなようにさせてあげる。

認知症の方々は、この3つの時期をいったり、きたりしながらお過ごしになられます。一緒に生活されたり、関わられるご家族の方には、一人で悩まず、抱えこまず、まずは専門家に一度ご相談下さい。きっと良い関わりを教えて頂けると思います。

訪問看護ステーションひとごころには、
認知症心理カウンセラーが在籍しています。
いつでも、ご相談下さい。

TEL: 092-519-0235

